

平成29年度全国学力・学習状況調査における 岡崎市児童生徒の結果について

岡崎市教育委員会

1 調査分析概要（全国の平均正答率と比較して）

（1）全体の様子

岡崎市内の小中学校はともに、国語、算数・数学の「知識」「活用」に関する問題において、全国及び県の平均正答率を上回っている。

小学校においては、算数の「活用」に関する問題が「たいへんよくできている」状況である。中学校においては、国語の「活用」に関する問題で、数学の「知識」「活用」に関する問題で、「たいへんよくできている」状況である。

（2）小中学校別各教科「知識」「活用」に関する問題の様子

《小学校6年生》

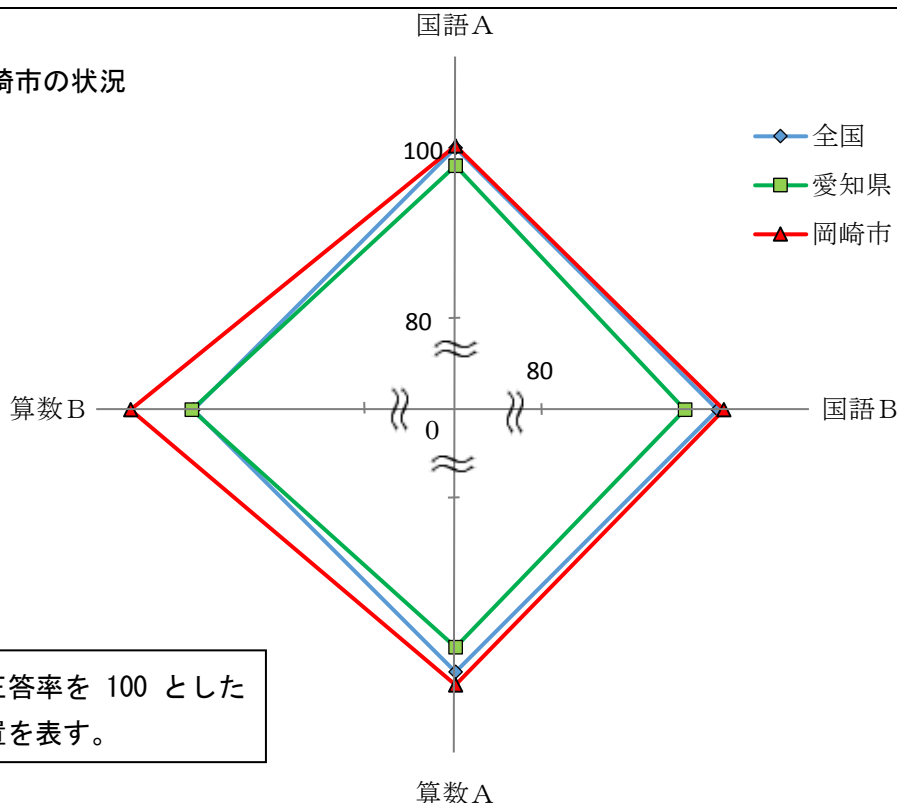
科	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国 語	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙の構成を理解し、後付けにおける署名と宛て名の位置関係を捉える力に優れている。 ことわざの意味や使い方を正しく理解している児童が多い。 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いたり、読んだりすることは、おおむねできている。 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く力が弱い。 	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える力に優れている。 目的や意図に応じ、引用して書く力に優れている。 話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える力がやや弱い。 自分の考えを広げたり、深めたりするための発言の意図を捉える力が弱い。
算 数	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できるなど、正多角形の性質を理解している児童が多い。 小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解している児童が多い。 小数と整数の加法の計算をする力に優れている。 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする力が弱い。 	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 測定値を平均する考えを用いて適切に判断したり、示された方法を解釈・表現したりする力に優れている。 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断する力に優れている。 示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを図に表現することができる児童が多い。 表やグラフの特徴をもとに考察したり、表現したりする力が弱い。
学 習 状 況	<ul style="list-style-type: none"> 「朝食を毎日食べる」児童は、「食べない」児童に比べ、国語は13ポイント、算数は12.5ポイント正答率が高い。規則正しい食生活を送る児童が、高い正答率を得ている。 「友達との約束を守る」児童は、「守らない」児童に比べ、国語は15.2ポイント、算数17.9ポイント正答率が高い。また、「学校のきまりを守る」児童は、「守らない」児童に比べ、国語は13.4ポイント、算数は20.3ポイント正答率が高い。規範意識が高い児童ほど高い正答率を得ている。 平日、テレビゲームやスマートフォン等の使用時間が長い程、正答率は低い。特に、4時間以上の児童は、1時間未満の児童に比べ、国語は14.6ポイント、算数は18ポイント正答率が低い。 	

《中学校3年生》

科	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<p><u>よくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 文脈に即して漢字を正しく書く力に大変優れている。また、漢字を正しく読むことができる生徒が多い。 相手に分かりやすいように語句を選んで話す力に優れている。 文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考え方を広げる力に優れている。 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う力がやや弱い。 	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する力に大変優れている。 目的に応じて必要な情報を読み取る力や、必要な情報を集めるための見通しをもつ力に大変優れている。 相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す力に優れている。 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く力がやや弱い。
数学	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、きまりに従って計算する力に大変優れている。 等式の性質をもとにして、一元一次方程式を解いたり、つくったりする力に優れている。また、二元一次方程式の解の意味を理解し、簡単な連立二元一次方程式を解く力に優れている。 資料の最大値と最小値との差である範囲の意味を理解している生徒が少ない。 	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を図形的に解釈して、その関係に着目して観察し、対称性を的確に捉える力に優れている。 付加された条件の下で、図形の性質を用いる力に優れている。その一方で、筋道を立てて図形の性質を証明することや、証明を振り返り、新たな図形の性質を見出す力がやや弱い。 資料から必要な情報を適切に読み取る力に優れている。
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> 「朝食を毎日食べる」生徒は、「食べない」生徒に比べ、国語は、16.9ポイント、数学は15.1ポイント正答率が高い。また、「同じくらいの時刻に起きる」生徒は、「起きない」生徒に比べ、国語で15.6ポイント、数学で10.9ポイント正答率が高い。生活習慣の確立が、正答率に関係している。 「学校の規則を守る」と回答した生徒は、「守らない」と回答した生徒より、国語及び数学の正答率がともに21.5ポイント高い。規範意識が高い生徒ほど高い正答率を得ている。 平日の携帯電話やスマートフォンでの通話やメール、インターネットの使用時間が長い程、正答率が低い。特に、4時間以上の生徒は、30分未満の生徒に比べ、国語は10.5ポイント、数学は14.3ポイント正答率が低い。 	

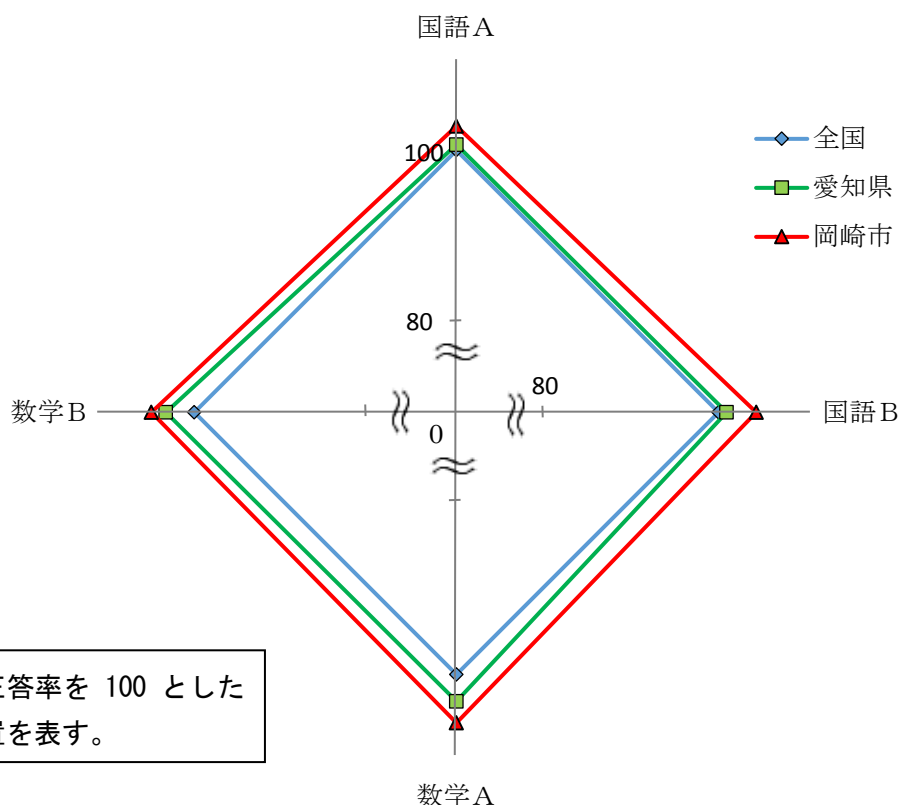
(3) 各教科別の岡崎市の状況

《小学校6年生》



※グラフは全国の正答率を 100 とした場合の岡崎の位置を表す。

《中学校3年生》



2 岡崎市教育委員会の指導改善等の取組

- (1) 国語、算数・数学の岡崎市の児童生徒の学力と、学習環境と学力との相関関係を詳細に分析し、学校での授業や家庭での生活習慣等の改善すべき内容を把握します。
- (2) (1) の分析結果を受け、その授業改善案等を教育委員会が各学校へ伝え、必要に応じて担当指導主事が学校訪問を行い、改善状況を確認したり、指導したりします。
- (3) 各学校において行っている「教育診断アンケート(学校評価)」を利用して、学校や教員が自己評価を行い、日々の授業の成果と課題を明らかにし、新たな授業改善の具体的な対策を立て、取り組むよう指示します。
- (4) 教育委員会と学校は、家庭や地域と連携しながら、子供たちの生活習慣や学習環境が学力に反映することを周知し、改善を図る取組を行い、総合的な学力の向上に努めていきます。

3 留意点

- (1) この調査は、子供たちの学習状況の改善を図るために参考とするものです。
- (2) この調査で測定した学力や学習状況は、特定の一部です。
- (3) 学校では、成果と課題を把握し、授業改善に努めます。
- (4) 家庭では、得意なこと・不得意なことを知り、また生活習慣の充実を図るなど、児童生徒が学習に意欲をもって取り組める励ましや環境づくりをお願いします。